

立業不思種徳、為眼前花。

R 4 . 1 2 . 9

第 6 5 0 話

今日はスッキリとした青空です。やはり気持ちがいいです。

中国は、洪自誠の随筆集「菜根譚」より。

「 立業不思種徳、為眼前花。 」

この持つ意味は、起業して利益を上げてても社会貢献しなければ、ただの目の前の花に過ぎないということ。

1 中学校区を預かる長として、校区の教育力向上に努めているつもりですが、今一度、この言葉を噛みしめ、上辺を調えること以上に、根拠と事実を的確に理解しながら、適切に実行に移して行きたい。

周りから称賛していただけるような、教育力の高い校区づくりに励みたい。